

平成31年 3月 8日

「認知症バリアフリー」に関する懇談会 資料

資料 6



芸陽バス株式会社



社名 芸陽バス株式会社

代表者 代表取締役社長 安井 千明

所在地 広島県東広島市

設立 1931（昭和6）年1月3日

営業距離（1日） 約 16,037 km 社員数 183名

車両数 乗合バス 113両 貸切バス 12両 特定貸切 6両

事業内容 一般乗合・一般貸切・特定旅客自動車運送事業、旅行業、保険事業、不動産事業
(2018年12月末現在)

○取組状況

- 2016年 夏 東広島市から認知症サポーターのステッカーのバス車内掲載依頼以降、東広島市・キャラバンメイトの方等と連携を模索。
- 〃 年10月 職員を中心とした養成講座 開催
- 〃 年12月 運転士を中心とした養成講座 開催
- 2018年 2月 運転士を中心とした養成講座 開催
- 〃 年 2月 安全統括課長、キャラバンメイト(講師)養成研修 修了以降、新入社員研修に組み込む。

○実績

社員183名中48名受講 **受講率26%**（2018年12月末現在）

○業務上での具体的な対応

車載無線を活用し、営業所等と連絡を取り合い、職員の応援や警察の保護を要請。
→乗合バスはワンマン運行なので、気が付いてもその後の対応継続が困難。

警察や家族からの行方不明の搜索依頼が多い。

→運転士への注意喚起やドライブレコーダ映像での後追い調査で協力する。

○検索時早期連絡体制の構築

課題： 搜索要請が遅い、情報が古い、要請先の範囲が狭い。

現状： IC乗車券の普及により、接点の減少・移動が広域化している。

※東広島市で行方不明の高齢女性が淡路島で保護される。

要望： できるだけ早く、正確な情報が欲しい。 ※警察は搜索願がないと動けない。

具体策： 家族同意の上、事前に定型の搜索依頼文書を製作しておき、
公的機関で管理、定期的に写真などの情報を更新する。

有事においては関係各所(交通機関、周辺の病院・商業施設)へ
電子メール・FAXで一斉送信を行う。

※「みまもりあいアプリ」等もあるが、業務中の携帯端末使用禁止や
端末を使いこなせない場合もあるのではないか？

○認知症サポーターの普及（社員向け）

課題： サポーター養成講座を実施するにあたり、事前申請・教材受取が必要。

現状： 人手不足の現状で、計画的に受講者を集めるのが困難。

要望： キャラバンメイトに対しては、教材等の事前預託をする。